

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験
TT 実技試験におけるカメラの持込み受験について【受付開始】

非破壊試験技術者資格試験 TT1、TT2 の実技試験において、赤外線サーモグラフィカメラの持込み受験ができるようになりました。持込み受験の条件等は次の通りです。持込み受験希望者は以下に記載されていることを考慮して準備してください。

1. 持込み受験の開始時期

1.1 新規試験・再試験対象者

2024年秋期二次試験（2024年11～12月実施）より、持込み受験を受け付けます。持込み受験を希望する場合は、受験申請受付期間中に受験申請書の実技選択欄に記入のうえ提出してください。

1.2 再認証試験対象者

2025年春期再認証試験（2025年2～3月実施）より、持込み受験を受け付けます。持込み受験を希望する場合は、受験申請受付期間中に受験申請書の実技選択欄に記入のうえ提出してください。

2. 持込み受験ができるカメラ

現行の試験では、NEC/Avio 製 H2630 及び FLIR 製 SC620 のいずれかを受験申請時に選択し、当協会が準備したカメラで実施しております。持込み可能なカメラについては以下の通りです。

持込受験ができるカメラの機種（2024年7月3日現在）

メーカー名	機種
フリーシステムズジャパン株式会社	E52、E54、E76、E86、E96、 T530、T540、T560、T840、T860、T865
日本アビオニクス株式会社	R550 シリーズ：R550Pro、R550、R550S、 R450 シリーズ：R450Pro、R450、R450S

※レンズは標準（24°）のみ試験で使用可能です。

3. 持込み受験実施の要点

- ① 受験申請時に「カメラ持込み受験希望」を明示すること。詳細は、受験申請時期の日程表及び受験申請書を参照のこと。
- ② 事前に連絡された実技試験の集合時間・場所に持込み受験で使用するカメラを持参すること。（事前に試験会場に送付することはできない）
- ③ 持込み受験では、試験開始前及び終了後に、条件・データ等のメモリを全て消去する。
 - 1) 重要な条件・データは実技試験会場にカメラを持参する前にバックアップを取っておくこと。
 - 2) 初期化状態（工場出荷状態）からカメラの操作が出来るよう取扱い方法に十分習熟しておくこと。（取扱説明書の持込みはできない）
 - 3) カメラに装着されている外部記憶メモリ（SDカード、コンパクトフラッシュ等）は実技試験開始前にカメラ本体から外すこと。
- ④ 持込みカメラの操作方法に関する質問は一切受け付けない。実技試験中に持参したカメラ及び関連器に不具合が発生した場合には、全て受験者自身で対応すること。

以上